

鎌倉児童ホームとクリーンキャンペーン&餅つき大会

「フードバンクかながわ」からの食品寄贈に児童も大喜び！



鎌倉市役所をスタート

2月15日(土)11時～鎌倉児童ホームにて、毎年恒例となっている三浦半島労福協主催「鎌倉児童ホームふれあいデー&餅つき」を開催しました。

今回は三浦半島地域連合と共催として、9時30分から鎌倉市のクリーンキャンペーンを開催しました。

当日は晴天に恵まれ、労福協・地域連合役員90名と鎌倉児童ホームの児童ら60名の約150名が参加し、鎌倉市役所をスタートし、鎌倉児童ホーム・鎌倉市役所の周辺や小町通りを中心に

約1時間の清掃を行いました。

清掃後150名は鎌倉児童ホームに場所を移し、児童ホームとのふれあい餅つき大会を開催、来賓として三浦半島労福協の上部団体である県労福協の市川事務局長、菅野・天野両事務局次長、鎌倉松尾市長、近藤県議員、地元鎌倉市の山田市議会議員と竹田市議会議員なども参加し、開会式を行いました。松本会長の開会の挨拶で始まり、神奈川県労福協からは挨拶とともにフードバンク神奈川より、お米・お味噌・お菓子をはじめとして多くの食材を寄贈し、児童は大喜び、鎌倉児童ホームからも感謝の挨拶を頂きました。

開会式後、加盟組織のJP労組より提供いただいたもち米を使用し、スタッフと子どもたちとで餅つきを行いました。

出来上がったお餅は、あんこやきなこ、納豆などいろいろな物と絡めて、絡み餅を作りました。

また、2種類のおこわも合わせて作り振る舞われ、つきたて・出来立ての食事をみんなで楽しみました。



拾ったゴミはきちっと分別



フードバンクかながわの食材を寄贈

餅つきの他にも日産労組より提供された綿アメ機で、子どもたちはスタッフと一緒に綿アメを作りました。

食事が終わると、役員スタッフは元気が有り余っている子どもたちとサッカーやバスケットなどで一緒に遊び交流を深めました。



三浦半島スタッフがついた、出来立てのお餅を様々な味で提供

様々な事情で、親元で暮らせない子どもたちに対して、今回のような活動を行い、子どもたちの笑顔を守っていけるよう三浦半島労福協・地域連合は今後も取り組んでいきます。